

ぐんま緑の県民税 県民アンケート

報告書



平成30年5月
群馬県

目次

第1章	調査概要.....	1
1.	調査目的.....	1
2.	調査方法.....	2
1)	調査対象者.....	2
2)	調査対象者の抽出方法.....	2
3)	調査対象者の抽出結果.....	4
4)	調査票の配布・回収.....	5
3.	回収結果.....	5
4.	集計方法.....	5
第2章	調査結果.....	6
1.	回答者の属性.....	6
1)	居住市町村別.....	6
2)	地域別.....	7
3)	性別.....	8
4)	年齢別.....	8
5)	年齢別回収率.....	9
6)	性別・年齢別.....	9
7)	森林の所有状況.....	10
2.	全体集計.....	11
1)	問1 森林の働きについて.....	11
2)	問2 「ぐんま緑の県民税」の認知度について.....	18
3)	問3 「ぐんま緑の県民税」を活用した取組について.....	26
4)	問4 「ぐんま緑の県民税」の継続について.....	33
5)	問5 「ぐんま緑の県民税」を継続した場合の取組について.....	42
3.	記述回答.....	53
1)	問5 その他意見.....	53
2)	問6 「ぐんま緑の県民税」に関するご意見について.....	57
第3章	資料編 アンケート調査票.....	69

第1章 調査概要

1. 調査目的

ぐんま緑の県民税は、平成30年度でI期5年が終了することから、平成31年度以降の制度のあり方について検討を行うが、これに際しぐんま緑の県民税に対する県民の意識を把握し、検討資料とするため、県民アンケート調査を次のとおり実施した。

2. 調査項目

1) 依頼文

調査の前提として、納税者から年額700円を徴収させていただいていること、財源をぐんま緑の県民基金に積み立て、奥山の森林の整備や、地域住民やボランティア団体等が行う里山・竹林の整備等に活用していることを記載した。

また、資料として、「ぐんま緑の県民税」の取組、パンフレットを同封した。

2) 調査項目

調査については、回答率の向上、負担軽減を考慮し調査項目を決定した。

一般項目として、

- 性別
- 年代
- 職業
- 居住地域
- 森林所有の有無

について回答を求めた。また、目的調査項目として

- 森林の働きについて
- 認知度について
- 「ぐんま緑の県民税」を活用した取組について
- 「ぐんま緑の県民税」の継続について
- 継続した場合の取組について

の5項目について、選択式での回答を求めた。

さらに「ぐんま緑の県民税」に関する意見について、自由記述式での回答を求めた。

3. 調査方法

1) 調査対象者

県民アンケートの調査対象者は県内在住の満 18 歳以上の男女 2,200 人¹とした。

2) 調査対象者の抽出方法

選挙人名簿登録者を対象とした層化二段無作為抽出法²により実施する。

群馬県内の市町村を表 1 及び図 1 に示すように 11 地域にわけ(層化)、地域別の状況把握ができるよう各地域から一律 200 人を抽出した。1 調査地点の標本数を 10 とし、各市町村から最低 1 調査地点以上計 10 調査地点をそれぞれ無作為(等間隔抽出法³)に各地域で選ぶものとした。

ここでの調査地点は国勢調査における町丁・字等人口データの地域区分とし、選挙人名簿登録者数を使用して各地域の調査地点計 20 を、各地域の市町村人口の比例配分により振り分ける。なお、調査地点抽出に際しての各層内における市町村の配列順序は、国勢調査時における「市区町村コード表」の配列順序に従うものとした。

各調査地点における対象者の抽出は調査地点の範囲(町、丁目、街区、番地、集落などを指定)内から、選挙人名簿より等間隔抽出法を用いて無作為に行った。

※1 標本数 n は下記の式で求められる。

$$n = \frac{\lambda^2 p(1-p)}{d^2} \quad n: \text{標本数}, p: \text{回答比率}, d: \text{標本誤差}, \lambda: \text{信頼水準}$$

回答比率は調査対象者の回答比率(例 50%の人が賛成)を示し、ここでは標本数が最大となる 0.5 とする。標本誤差とは調査結果で容認できる誤差をいい、ここでは 3% (0.03) とする。信頼水準とは正しく判断できる確率をいい、ここでは 95%となる $\lambda=2$ とする。これらの数値を上記の式に入力すると標本数 $n=1111$ となる。回収率を 50%程度とし、標本数を 2200 とした。

※2 層化二段無作為抽出法とは対象地域を市町村などの行政単位によっていくつかに分類し(層化)、各層に調査地点を各層の人口に応じて比例配分し、国勢調査における調査地域や住民基本台帳などを利用して、各地点において一定数のサンプル抽出を行う方法(二段無作為抽出)をいう。

※3 等間隔抽出法とは無作為抽出の手法の 1 つである。母集団の一覧から等間隔で調査対象者を抽出する。例えば総数 200 の母集団から標本数 10 を等間隔抽出法で抽出する場合、総数 200 を標本数 10 で割って抽出間隔 20 (200÷10) を求める。1 から 20 までの整数の中から無作為に数字を決め、抽出起番号とする。抽出起番号を仮に「3」とする。番号が 3 から 23、43、63 と抽出間隔が 20 で 183 までの 20 を抽出する。

表 1 地域区分

番号	地域名	構成市町村名
1	前橋地域	前橋市
2	北群馬渋川地域	渋川市、榛東村、吉岡町
3	佐波伊勢崎地域	伊勢崎市、玉村町
4	高崎・安中地域	高崎市、安中市
5	多野藤岡地域	藤岡市、上野村、神流町
6	甘楽富岡地域	富岡市、下仁田町、南牧村、甘楽町
7	吾妻地域	中之条町、長野原町、嬭恋村、草津町、高山村、東吾妻町
8	利根沼田地域	沼田市、片品村、川場村、昭和村、みなかみ町
9	太田地域	太田市
10	桐生・みどり地域	桐生市、みどり市
11	邑楽館林地域	館林市、板倉町、明和町、千代田町、大泉町、邑楽町

※標本数は各地域 200 標本とする。

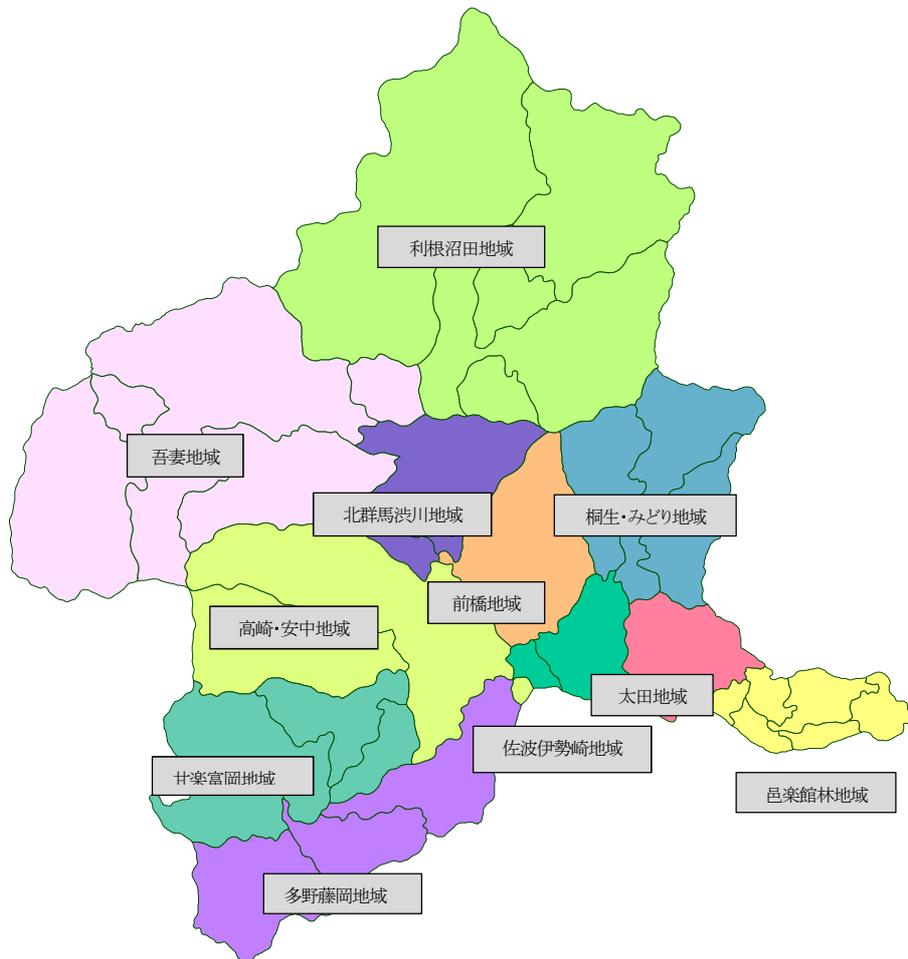


図 1 地域区分

3) 調査対象者の抽出結果

前項の方法により抽出された調査対象者は表 2 調査対象者抽出数に示すとおりである。

表 2 調査対象者抽出数

		18・19歳		20代		30代		40代		50代		60代		70代		80代以上		全体		合計
		男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	
市部	前橋市	3	-	7	11	11	15	15	15	17	19	18	20	17	17	10	5	98	102	200
	高崎市	1	2	9	9	9	14	11	14	12	14	21	13	14	14	7	6	84	86	170
	桐生市	1	2	7	6	4	10	13	4	13	9	18	14	7	18	4	10	67	73	140
	伊勢崎市	4	1	7	7	9	11	19	25	7	11	21	16	15	8	3	6	85	85	170
	太田市	1	2	7	12	19	12	22	19	14	16	19	14	16	18	4	5	102	98	200
	沼田市	4	-	5	7	6	10	10	8	13	3	6	7	7	16	3	5	54	56	110
	館林市	-	2	7	5	8	3	7	11	7	8	7	9	4	1	-	1	40	40	80
	渋川市	2	4	3	5	5	8	14	8	8	8	17	16	7	13	8	4	64	66	130
	藤岡市	-	3	7	11	10	16	18	13	15	11	19	19	14	13	5	6	88	92	180
	富岡市	-	1	7	7	8	9	11	11	8	8	11	14	11	9	8	7	64	66	130
	安中市	-	1	1	2	1	2	4	1	2	3	3	2	4	2	-	2	15	15	30
みどり市	-	1	1	4	4	4	3	2	3	4	13	5	6	7	-	3	30	30	60	
市部計		16	19	68	86	94	114	147	131	119	114	173	149	122	136	52	60	791	809	1,600
北群馬郡	榛東村	-	-	2	1	2	1	2	1	5	3	2	3	2	3	-	3	15	15	30
	吉岡町	1	-	2	-	5	5	3	4	6	4	2	5	-	2	1	-	20	20	40
	計	1	0	4	1	7	6	5	5	11	7	4	8	2	5	1	3	35	35	70
多野郡	上野村	-	-	1	-	1	1	1	-	-	1	1	3	-	-	1	-	5	5	10
	神流町	-	1	-	-	1	-	-	-	1	-	1	2	1	1	1	1	5	5	10
	計	0	1	1	0	2	1	1	0	1	1	2	5	1	1	2	1	10	10	20
甘楽郡	下仁田町	-	-	2	1	3	2	2	1	-	2	3	2	-	1	-	1	10	10	20
	南牧村	-	-	1	-	-	-	1	-	1	1	-	3	2	1	-	-	5	5	10
	甘楽町	-	-	3	3	2	3	1	2	1	2	9	5	2	5	2	-	20	20	40
	計	0	0	6	4	5	5	4	3	2	5	12	10	4	7	2	1	35	35	70
吾妻郡	中之条町	-	2	5	1	5	4	5	1	2	5	3	10	4	5	5	3	29	31	60
	長野原町	-	-	1	1	3	1	2	2	-	1	3	-	1	3	-	2	10	10	20
	嬭恋村	2	-	-	-	1	1	4	2	1	3	1	4	3	2	3	3	15	15	30
	草津町	-	1	1	-	-	1	2	2	4	1	2	2	1	2	-	1	10	10	20
	高山村	-	1	1	-	1	1	2	-	2	1	2	4	1	3	1	-	10	10	20
	東吾妻町	1	2	2	2	4	3	5	6	3	4	6	-	2	6	1	3	24	26	50
	計	3	6	10	4	14	11	20	13	12	15	17	20	12	21	10	12	98	102	200
利根郡	片品村	-	-	-	1	2	-	-	1	-	1	2	-	-	2	1	-	5	5	10
	川場村	-	-	2	-	1	1	1	-	1	-	-	1	-	3	-	-	5	5	10
	昭和村	-	-	1	-	-	5	2	1	1	1	1	1	4	2	1	-	10	10	20
	みなかみ町	-	-	-	5	2	3	4	2	3	3	5	5	4	6	6	2	24	26	50
	計	0	0	3	6	5	9	7	4	5	5	8	7	8	13	8	2	44	46	90
佐波郡	玉村町	-	-	3	2	3	4	1	4	1	3	4	1	1	1	2	-	15	15	30
	計	0	0	3	2	3	4	1	4	1	3	4	1	1	1	2	0	15	15	30
邑楽郡	板倉町	-	-	-	2	2	1	1	2	-	1	5	3	2	1	-	-	10	10	20
	明和町	-	-	-	2	1	-	1	1	1	-	2	-	-	1	-	1	5	5	10
	千代田町	-	-	-	1	1	-	1	-	-	1	-	2	1	-	2	1	5	5	10
	大泉町	-	-	3	2	5	4	4	4	3	8	5	5	3	1	3	-	26	24	50
	邑楽町	-	-	2	3	3	1	2	3	3	4	4	1	-	3	1	-	15	15	30
	計	0	0	5	10	12	6	9	10	7	14	16	11	6	6	6	2	61	59	120
郡部計		4	7	32	27	48	42	47	39	39	50	63	62	34	54	31	21	298	302	600
総計		20	26	100	113	142	156	194	170	158	164	236	211	156	190	83	81	1,089	1,111	2,200

4) 調査票の配布・回収

抽出された調査対象者あてにアンケート調査票を3月23日(金)の投函締切として、郵送で平成30年3月9日(金)に発送し、同封した封筒により郵送で調査票を回収した。

配布から回答締切である3月31日(土)までの間に未回答の場合の回答を促すはがきをアンケートへの協力のお礼を兼ね全対象者あてに発送した。

(平成30年3月16日発送)

4. 回収結果

回収数1,004件で、無効(白紙)1件を除いた有効回収数1,003件、有効回収率45.6%であった。

5. 集計方法

回収された各回答を整理し、各設問の単純集計の他に、性別、年齢別、地域別、職業別の集計及び、これらと事業に関するアンケート結果のクロス集計を行った。なお、地域別集計は回答者の居住地から地域を求めて行った。

集計結果は小数点第二位を四捨五入し、構成比率(%)で小数点第一位まで表示した。そのため、表示された構成比率の合計が100.0%にならない場合がある。

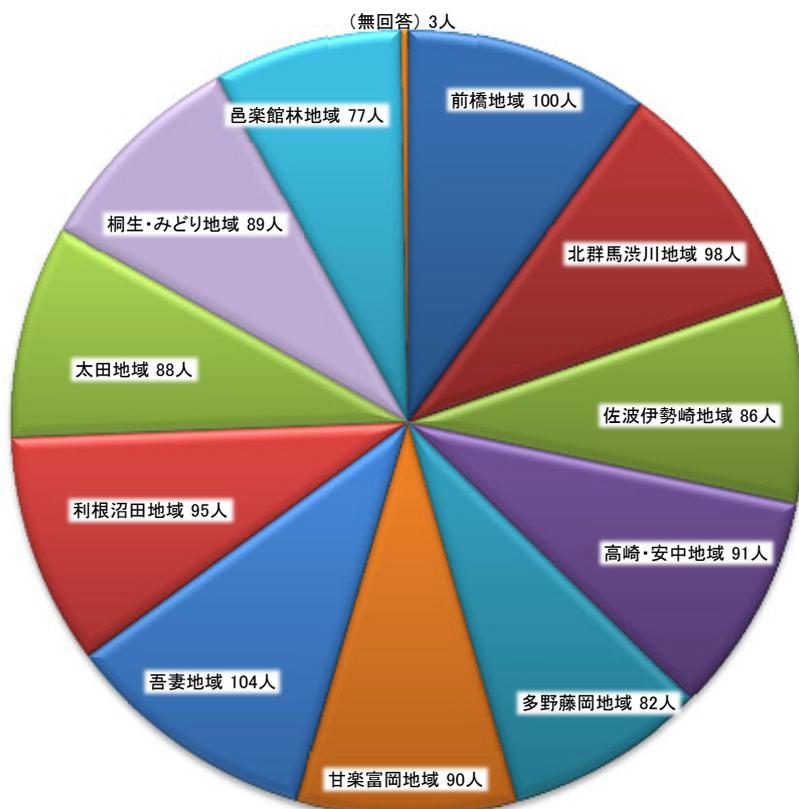
第2章 調査結果

1. 回答者の属性

1) 居住市町村別

市町村	配布		回収			回収率 (%)		
	男性	女性	男性	女性	不明			
前橋市	200	98	102	100	45	54	1	50.0
高崎市	170	84	86	78	38	39	1	45.9
桐生市	140	67	73	64	28	35	1	45.7
伊勢崎市	170	85	85	73	38	35		42.9
太田市	200	102	98	88	44	44		44.0
沼田市	110	54	56	43	18	24	1	39.1
館林市	80	40	40	31	10	21		38.8
渋川市	130	64	66	70	27	43		53.8
藤岡市	180	88	92	70	30	40		38.9
富岡市	130	64	66	56	24	31	1	43.1
安中市	30	15	15	13	4	9		43.3
みどり市	60	30	30	25	10	15		41.7
市部計	1,600	791	809	711	316	390	5	44.4
榛東村	30	15	15	11	5	6		36.7
吉岡町	40	20	20	17	6	11		42.5
上野村	10	5	5	7	4	3		70.0
神流町	10	5	5	5	2	3		50.0
下仁田町	20	10	10	9	5	4		45.0
南牧村	10	5	5	4	1	3		40.0
甘楽町	40	20	20	21	12	9		52.5
中之条町	60	29	31	33	16	17		55.0
長野原町	20	10	10	10	5	5		50.0
嬭恋村	30	15	15	17	8	9		56.7
草津町	20	10	10	8	5	3		40.0
高山村	20	26	24	13	6	6	1	65.0
東吾妻町	50	10	10	23	10	13		46.0
片品村	10	24	26	5	1	4		50.0
川場村	10	5	5	4	1	3		40.0
昭和村	20	5	5	14	7	7		70.0
みなかみ町	50	10	10	29	15	14		58.0
玉村町	30	24	26	13	6	7		43.3
板倉町	20	15	15	7	5	2		35.0
明和町	10	10	10	4	1	3		40.0
千代田町	10	5	5	6	3	3		60.0
大泉町	50	5	5	17	7	9	1	34.0
邑楽町	30	15	15	12	5	7		40.0
郡部計	600	298	302	289	136	151	2	48.2
(無回答)	-	-	-	3	1	1	1	
総計	2,200	1,089	1,111	1,003	453	542	8	45.6

2) 地域別

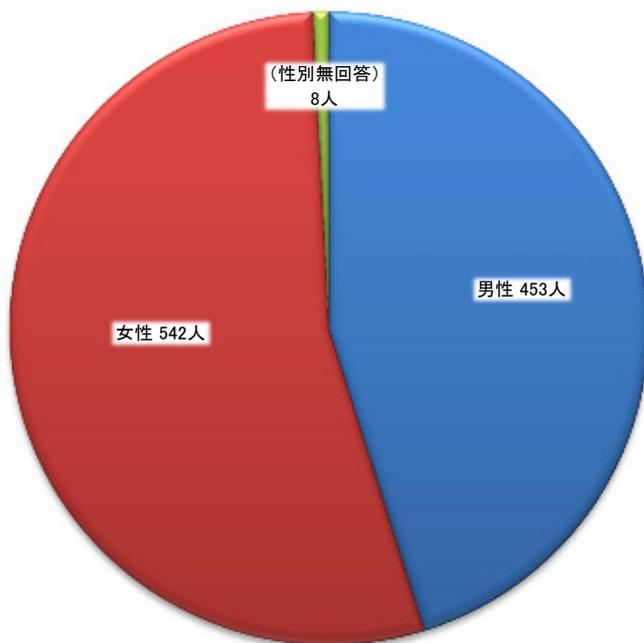


吾妻、前橋、北群馬渋川地域で高い回収率となっている。

一方、平野部が多い東毛地域では全般的に回収率が低めで、特に邑楽館林地域で回収率が低い結果となった。

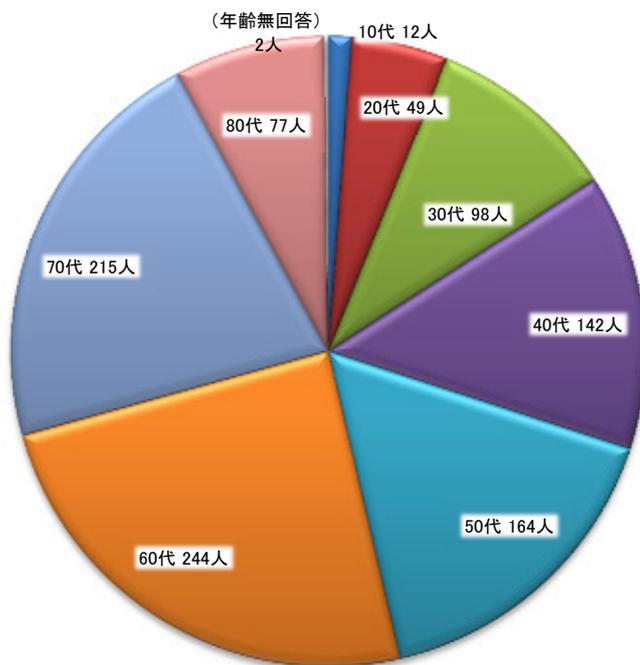
地域名	人数 (人)	構成比 (%)	回収率 (%)	構成市町村
前橋地域	100	10.0	50.0	前橋市
北群馬渋川地域	98	9.8	49.0	渋川市・榛東村・吉岡町
佐波伊勢崎地域	86	8.6	43.0	伊勢崎市・玉村町
高崎・安中地域	91	9.1	45.5	高崎市・安中市
多野藤岡地域	82	8.2	41.0	藤岡市・上野村・神流町
甘楽富岡地域	90	9.0	45.0	富岡市・下仁田町・南牧村・甘楽町
吾妻地域	104	10.4	52.0	中之条町・長野原町・嬭恋村・草津町・高山村・東吾妻町
利根沼田地域	95	9.5	47.5	沼田市・片品村・川場村・昭和村・みなかみ町
太田地域	88	8.8	43.5	太田市
桐生・みどり地域	89	8.9	44.0	桐生市・みどり市
邑楽館林地域	77	7.7	38.5	館林市・板倉町・明和町・千代田町・大泉町・邑楽町
(無回答)	3	0.3	-	
計	n=1,003	100.0		

3) 性別



項目	人数 (人)	構成比 (%)
男性	453	45.2
女性	542	54.0
(無回答)	8	0.8
合計	n=1,003	100.0

4) 年齢別



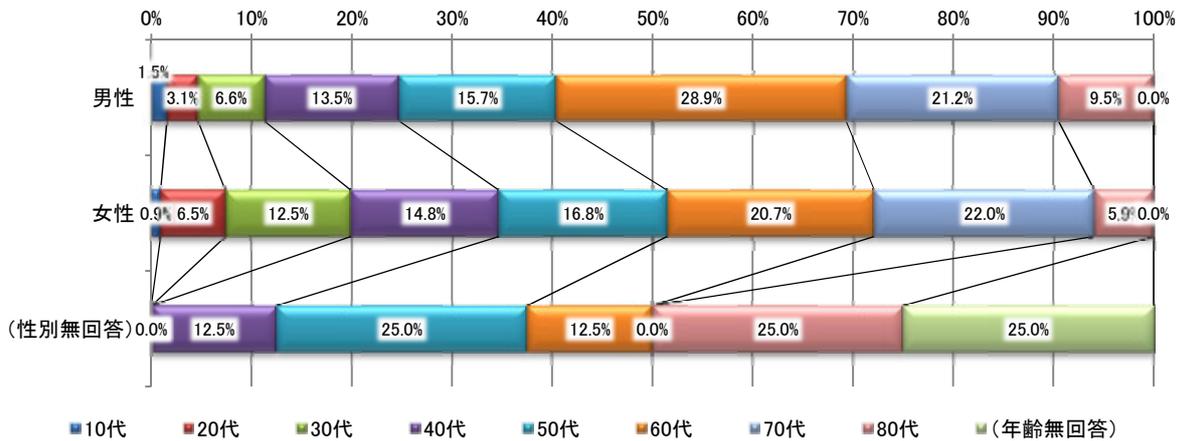
項目	人数 (人)	構成比 (%)
10代	12	1.2
20代	49	4.9
30代	98	9.8
40代	142	14.2
50代	164	16.4
60代	244	24.3
70代	215	21.4
80代	77	7.7
(無回答)	2	0.2
合計	n=1,003	100.0

5) 年齢別回収率



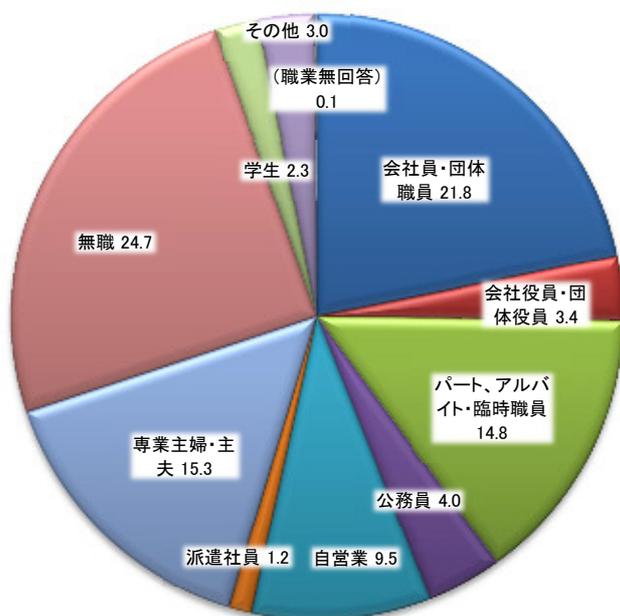
50～70代で高い回収率となっている。
一方、30代以下は回収率が低い結果となった。

6) 性別・年齢別



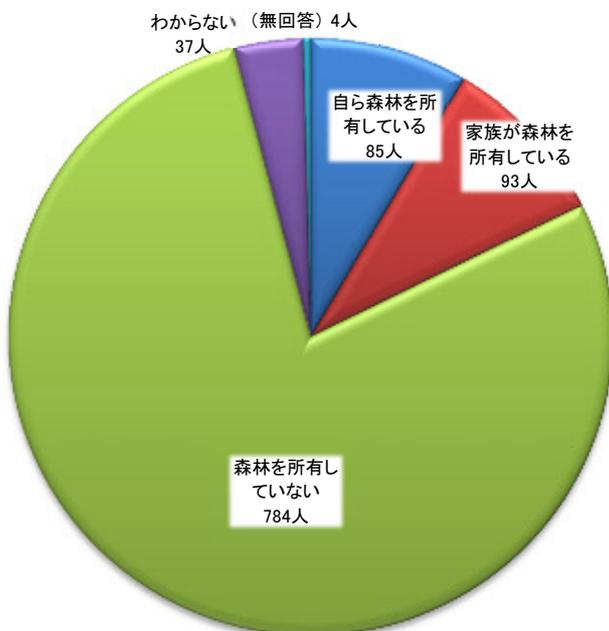
	男性		女性		(性別無回答)		総計
	人数	構成比(%)	人数	構成比(%)	人数	構成比(%)	
10代	7	1.5	5	0.9	0	0.0	12
20代	14	3.1	35	6.5	0	0.0	49
30代	30	6.6	68	12.5	0	0.0	98
40代	61	13.5	80	14.8	1	12.5	142
50代	71	15.7	91	16.8	2	25.0	164
60代	131	28.9	112	20.7	1	12.5	244
70代	96	21.2	119	22.0	0	0.0	215
80代	43	9.5	32	5.9	2	25.0	77
(年齢無回答)	0	0.0	0	0.0	2	25.0	2
総計	453	100.0	542	100.0	8	100.0	1,003

7) 職業別



項目	人数	構成比 (%)
会社員・団体職員	219	21.8
会社役員・団体役員	34	3.4
パート、アルバイト・臨時職員	148	14.8
公務員	40	4.0
自営業	95	9.5
派遣社員	12	1.2
専業主婦・主夫	153	15.3
無職	248	24.7
学生	23	2.3
その他	30	3.0
(職業無回答)	1	0.1
合計	n=1,003	100.0

8) 森林の所有状況



項目	人数	構成比 (%)
自ら森林を所有している	85	8.5
家族が森林を所有している	93	9.3
森林を所有していない	784	78.2
わからない	37	3.7
(無回答)	4	0.4
合計	n=1,003	100.0